

Blackboard@Tamagawa 活用事例

01 経営学部国際経営学科准教授 大金 エセル 先生

国際社会のビジネスリーダー育成を目指す経営学部における EC での活用

大金先生は、応用言語学、外国語 (EFL)、教育英語を専門分野に、イングリッシュ・コミュニケーションのまとめ役を務め、イングリッシュ・ワークショップ、英語科指導法、プロジェクトセミナーなどを担当されています。21世紀の国際社会に必要なパブリックマインドを持ち、世界を舞台にリーダーシップが発揮できる人材養成の核となるよう、学部をあげて取り組んでいる科目「イングリッシュ・コミュニケーション (EC)」の Blackboard@Tamagawa を活用した事例を紹介いたします。



科目の規模と授業での Blackboard の活用例

経営学部の主要な英語プログラムには English Communication (EC) と Intensive English Communication (IEC) があります。EC I と II (それぞれ 4 単位) は国際経営学科と観光経営学科の 1 年生全員 (平成 19 年度は約 260 名) の必修科目で、IEC の I と II (それぞれ 4 単位) は国際経営学科 2 年生の選択科目 (平成 19 年度は約 120 名が選択)、観光経営学科 2 年生の必修科目 (平成 20 年度から) です。EC、IEC のいずれのコースも約 12 名～18 名の小規模サイズのクラスで行われ、月曜と水曜、金曜の 100 分週 3 回のスキル別の授業から構成されます。EC の場合は Listening & Speaking、Reading & Writing、TOEIC Preparation の 3 スキルで、IEC の場合は Writing、Reading、TOEIC Preparation の 3 スキルです。

経営学部の 1 年生は入学直後に Michigan

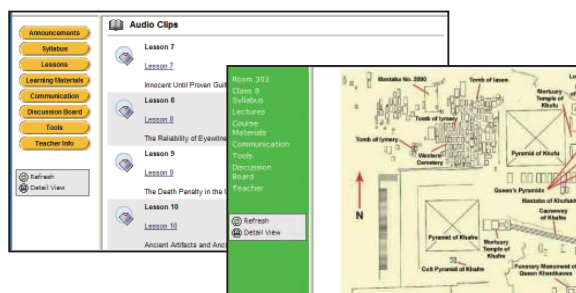
Placement Test を受け、能力別に 14 の EC クラスに分けられます。100 分の授業を週 3 回受け、それを 12 週つづけます。その間に midterm (中間試験) と final (期末試験) の 2 回のテスト、7 月第 2 土曜には TOEIC Bridge (小テスト)、1 月第 2 土曜には TOEIC IP のテストの受験が義務づけられ、最終週の feedback の授業を迎えることとなります。2 年次の IEC の授業は 1 年次の TOEIC IP の結果に基づいて 11 のクラスに分けられます。EC では EC II が終了するまでに TOEIC IP スコアが 600 点、IEC では IEC II が終了するまでに TOEIC IP スコアが 700 点になることを目標にしています。

このように膨大な、複雑な経営学部の英語プログラムを管理・運営するのに Blackboard (以下 Bb) が利用されています。

まず、EC、IEC の受講生の Bb 画面はすべて英語で表記されます。Announcement、Syllabus、Lectures、Course Materials、

Communication、Discussion Board、Tools、Teacher Information などのコースメニューやボタンはすべて英語表記です。これに慣れると、学生は英語のホームページなどを気軽に、自信を持ってネット・サーフするようになります。EC、IEC のそれぞれのコースにはシラバスやテキストのオーディオ・クリップなどが載っていて、学生の予習・復習に利用されています。

EC、IEC の先生は個別に、自分のクラスのレベルに合わせて Bb 上にセルフ・スタディ用のタスクを載せています。たとえば池本佐恵子先生は Test Manager の機能を利用して Reading のクラス用に文法事項のクイズを作成し、それを Bb 上に載せています。このクイズは学生が自信を持って英語を使うことに役立っています。私自身は Lecture エリアに毎週のレッスン・プランを載せています。事前にそれを見た学生は、授業内で一人ひとりのやるべきことや、グループ・アクティビティの内容が分かり、テキストに関連するウェブ・サイトへのリンクや写真、グラフなどを見ることができ、追加のリーディング課題、宿題などが分かるようになっていきます。この Bb 上に載ったレッスン・プランを見れば、私自身もそうですが、学生もセメスター期間中、授業の進み具合を一目で理解することができるのです。



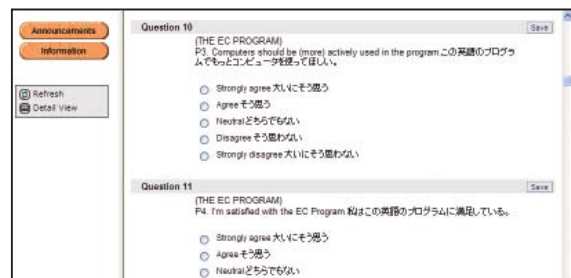
Bb コース内コンテンツ内容

経営学部の EC と IEC プログラムに関わる教員 28 名のうち、積極的に Bb を活用している教員は約半数にとどまっていますが、2007 年度秋セメスターのデータを見ると、経営学部 1 年生の全員が Bb のボタンをクリックし、EC コースの内容をチェックしていることが分かります。また Bb の EC データによれば、教員がコンテンツやアナウンスメントを Bb 上にアッ

プロードしたり、コミュニケーション・ツールを使ったとき、学生がより大きく反応しているのが分かります。

Blackboard で授業アンケートを実施

EC と IEC プログラムでは毎セメスターの終わりに Bb を利用して、これらのプログラム用に特別に製作された授業アンケートを実施しています。学生の学習状況、EC プログラム、3 つのスキル別のクラス、テキスト、教員などについて、毎回 46 の質問を出し、学生に 5 段階で評価してもらいます。さらに、EC と IEC のプログラム、スキル別のクラスについて、学生の自由な質問やコメント、提案を記入してもらいます。これらはもちろん無記名で行われます。



Bb コース内アンケート内容

この授業アンケートはセメスター最後の 2 回の授業で行うことになっていますが、これは Bb 上で行うため、学生はセメスター最後の 2 週間のいつでもアクセスし、アンケートに答えることができます。学生の回答率は毎回およそ 70%～85% です。これらのアンケート結果は経営学部の英語プログラムと教員に貴重なフィードバックを提供しています。

My Group の利用

EC と IEC プログラムでは Bb の My Group 機能を積極的に活用しています。毎年、経営学部の 1 年生と 2 年生は EC と IEC のクラスに分けられます。それらのクラスごとに、履修登録や、EC ハンドブック、クラス分け、授業日程、mid-term と final の試験日、TOEIC の試験日、教室の配置などについての重要な情報が、学生と教員のために、タイムリーにアップロードされます。（翻訳・日本語補足 佐藤 成男）

推奨パソコン(My PC)マニュアル “はじめてのMyPC”を公開

2008年3月1日より、玉川大学推奨モデルを購入した新入生および編入生向けのノート型パソコンを学内や自宅などで利用することに特化したWebサイトを公開しました。

推奨モデル購入者には、「初期セットアップガイド」に本サイトを記載し、入学前の期間に一読することで基本的なPCの利用を学べるようになっています。Windows Vista および Office2007 を中心とした内容となっております。

目次	
第1章 ノートパソコンとは	
第2章 Windowsの基本操作	
第3章 パソコンの基本的な用語	
第4章 文字入力をしてみよう	
第5章 Windowsを使ってみよう	
第6章 Windowsを便利に使おう	
第7章 セキュリティ対策	
第8章 インターネットの活用	
第9章 Blackboard@Tamagawa	
第10章 大学・自宅での活用	
第11章 周辺機器を利用する	
第12章 さらに快適な活用方法	
第13章 メンテナンス方法	

図. はじめてのMyPC

はじめてのMyPC アクセス方法

- (1) Blackboard@Tamagawa(<http://bb.tamagawa.ac.jp>) にアクセスします。
- (2) 「ヘルプボタン」をクリックし、ユーザマニュアルページを表示します。
- (3) 「MyPC」ボタンをクリックすることで、はじめてのMyPCサイトをご覧いただけます。



2008年度推奨機に関して

次年度のMyPC推奨モデルが決定しました。主なスペックとしては、Windows Vista Business および Office 2007 Professional がインストールされた Intel Core2 Duo 搭載、DVD+-RW ドライブ内蔵ノート型パソコンです。バッテリー駆動連続8時間のモデルとなっています。毎年、入学者の約70%の学生が「玉川大学モデル」を購入しています。



Blackboard@Tamagawa

2007年度 授業でのコース統計

2007年度 Blackboard@Tamagawa の利用率とコース統計結果をご報告します。2007年度春学期、秋学期を通しての Bb コース利用率は 45.8%、専任教員の利用率は 67.1%、学生の利用率は 98.0%となりました。

2007年度で利用率が高かったのはリベラルアーツ学部、経営学部、文学部です。2006年度と比べて工学部の利用率が増加しました。

全体的に課題提出機能、メディア教材、BBSの利用が増えています。また、2007年度より動画教材として大学音楽祭第九交響曲を Bb で視聴できるようになりました。

Blackboard@Tamagawa 活用推移 (大学全体)

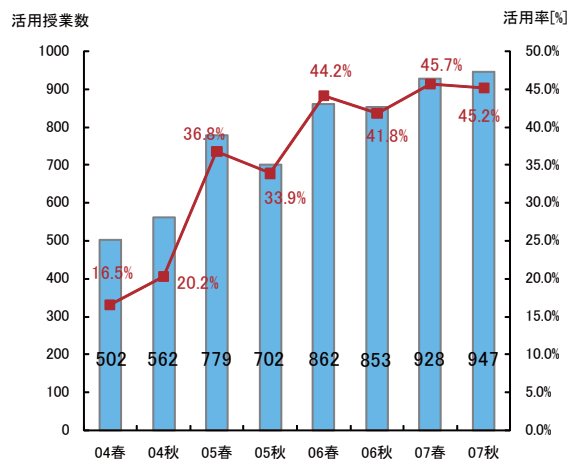


図. 授業における Blackboard @ Tamagawa 活用状況

- ①授業数：正式に登録され、開講された授業コード数
 ②活用数：①の授業のうち、Bb を活用した授業コード数
 ③利用率：授業のうち、Bb を活用している割合 (= ② ÷ ① × 100)

表 .Blackboard@Tamagawa 活用推移 (学期単位)

学部	2004 春		2004 秋		2005 春		2005 秋		2006 春		2006 秋		2007 春		2007 秋	
	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率	コース数	活用率
文学部	116	21.9%	108	26.7%	198	45.9%	183	39.3%	225	55.7%	201	49.1%	227	60.4%	207	54.8%
農学部	11	5.0%	9	5.0%	39	19.4%	36	18.5%	67	29.1%	73	33.5%	74	38.4%	69	38.9%
工学部	23	6.9%	25	9.8%	78	27.2%	77	28.1%	138	44.4%	123	39.8%	129	45.0%	126	49.0%
経営学部	241	88.3%	240	98.1%	224	100.0%	225	99.2%	209	99.1%	217	97.0%	128	67.4%	171	72.2%
教育学部	28	7.9%	31	14.5%	45	17.0%	48	18.4%	65	25.1%	49	19.2%	84	33.2%	75	29.9%
芸術学部	20	2.5%	15	4.4%	48	24.0%	31	11.8%	63	27.0%	45	25.4%	91	28.6%	66	27.2%
リベラルアーツ学部													40	79.6%	47	80.0%
コア	19	10.2%	21	11.9%	49	26.8%	49	24.5%	67	33.0%	77	34.0%	88	49.0%	99	49.5%
教職関連科目		0.0%		0.0%		11.4%		20.0%		28.6%		22.9%	5	38.5%	9	37.5%
総計	462	16.5%	453	20.2%	711	36.8%	669	33.9%	834	44.2%	785	41.8%	866	45.7%	869	45.2%

(注) ①コース数：教室での対面授業を 1 コースとして、授業コード区分別 (各学部、コア / 教職共通科目) に集計。

②受講者のべ数、教員実数：利用者を所属学部別に集計。

③利用率：各学部開講授業コードを元に集計。(図、注釈参照)

④コース数と活用率の違い：コース数は、Bb 利用対面授業数を把握する目的で集計。

利用率は、全授業中の活用の割合を把握するため、授業コードを元に集計。

編集後記

今回は「経営学部のイングリッシュ・コミュニケーション」の Bb の活用事例を報告していただきました。執筆の大金エセル先生・翻訳および日本語補足を担当してくださった佐藤成男先生に心よりお礼申し上げます。また、「はじめての MyPC」マニュアル (基本的な操作手順・用語をはじめ、トピックス等掲載) のご案内をいたしました。ぜひアクセスしていただき便利にご活用ください。

e-Education NewsLetter 2008 Vol.1

2008 年 4 月発行

玉川大学

e エデュケーションセンター メディア教育推進室

東京都町田市玉川学園 6-1-1

Tel : 042-739-8820

Fax : 042-739-8825

e メール : bbhelp@tamagawa.ac.jp